

## 3D パース表現の編集方法（面の穴埋めや部材の継ぎ足しなど）

文書管理番号：1166-02

### Q. 質問

床高が低い部屋に管柱を配置すると、3D パースで柱が床まで届かず浮いてしまう。  
間取りによって、壁に穴が開いてしまう。  
システムキッチンの吊戸棚と天井の間隙を埋めたい。

### A. 回答

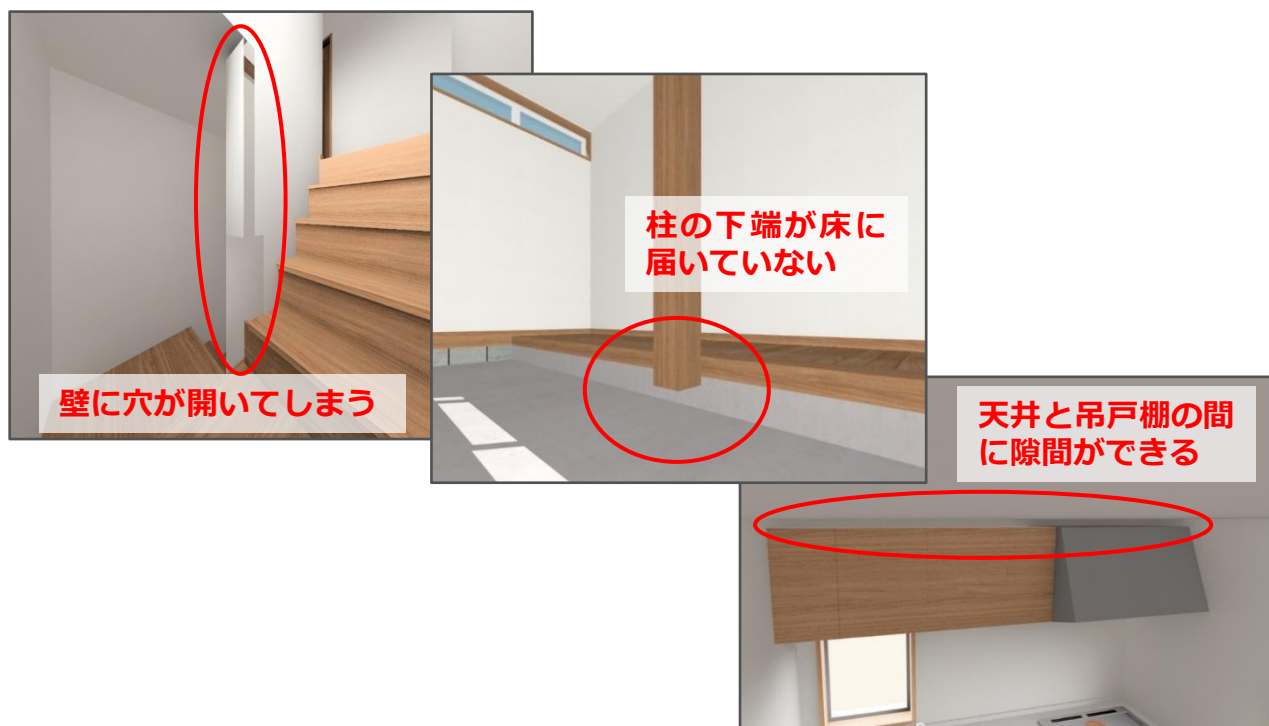
3D パースで表示した際に、部材の配置基準や設定によっては、柱や部品の長さが足りなかったり、壁などに隙間ができてしまったりすることがあります。

例えば、床高が当該階の階基準より低いところに管柱を配置すると、柱が床に届かず浮いたような表現になる場合や、間取りによっては壁に隙間ができる場合があります。

また、内観部品にある吊戸棚付きのシステムキッチンを設置した場合、天井の高さによっては、吊戸棚と天井の間に隙間ができます。

そのような場合には、汎用部品を利用して足りない部分を追加したり、面拡張機能を利用して隙間の穴埋めを行ったりすることができます。

ここでは、汎用部品や面拡張機能を利用して、「穴埋め」や「継ぎ足し」を行う方法を説明します。

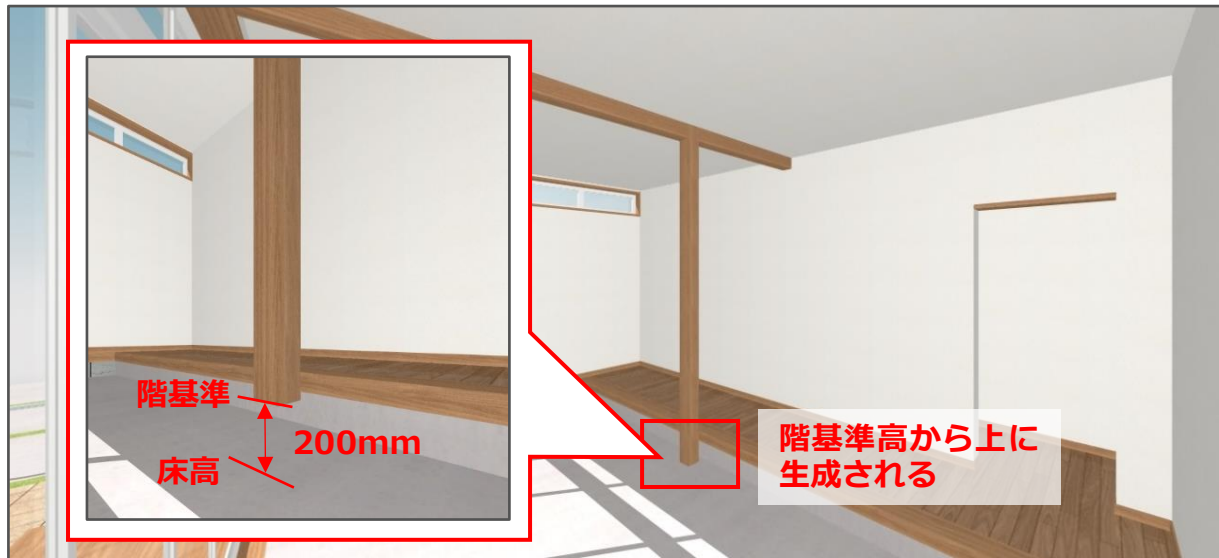


## 操作手順

### ● 立方体を利用した柱の継ぎ足し

ここでは、以下のような部屋に管柱を配置した際に、足りない部分を立方体で補う方法を説明します。

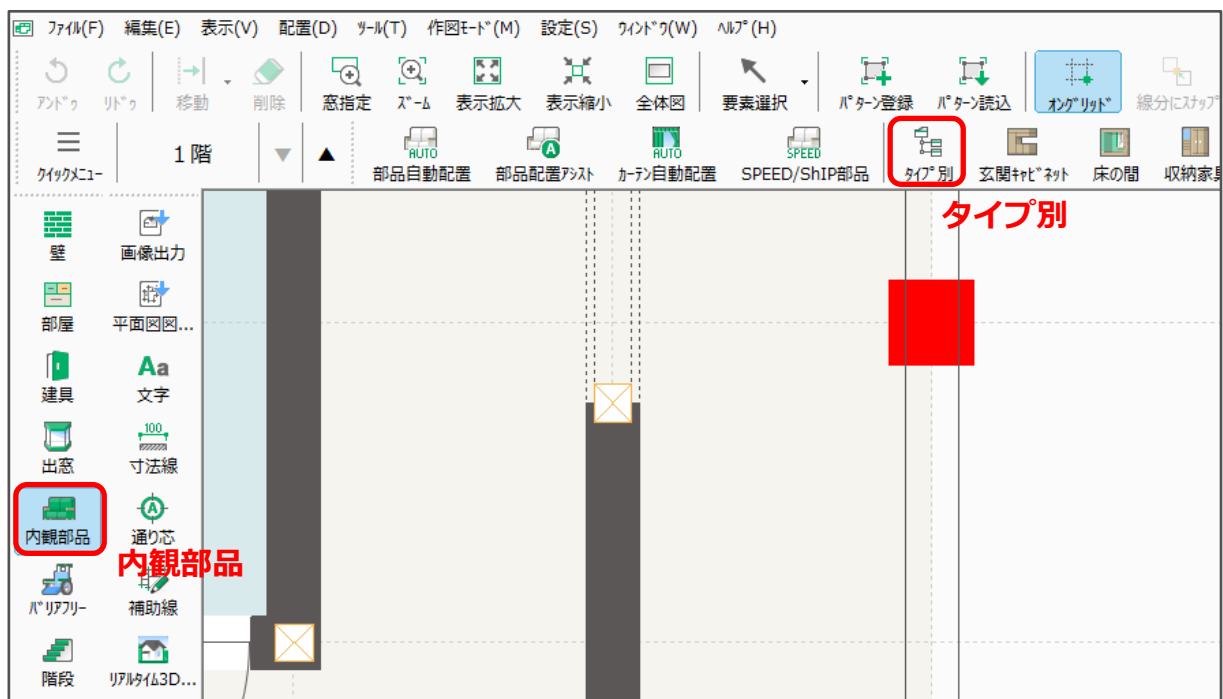
- ・階基準：525mm
- ・床高：-200mm
- ・管柱サイズ：105mm 角



- \* 柱を配置した土間の床高を「-200mm」に設定しているため、柱が土間床より 200mm 浮いています。

- ① (プラン図)で (内観部品)の (タイプ別)をクリック

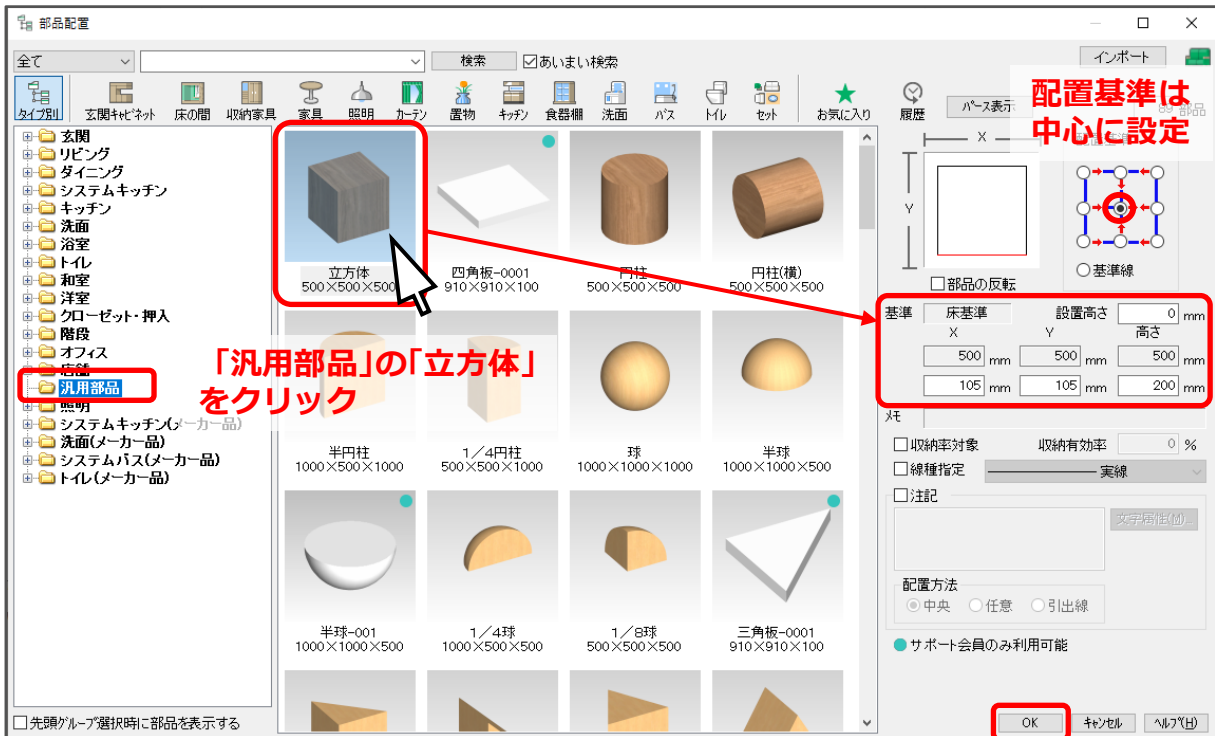
- \* 部品配置の画面が表示されます。



② 「汎用部品」にある「立方体」をクリックし、サイズや配置基準を設定

\* ここでは、以下のように設定します。

- ・ 配置基準：中心
- ・ 設置高さ：0mm（立方体を配置する部屋の床が配置基準となるので、床高がマイナスの部屋でも、設置高は0でかまいません。）
- ・ X：105mm    ・ Y：105mm    ・ 高さ：200mm



\* 立方体は「500mm角」と「1000mm角」の2種類ありますが、ここでは、「500mm角」の立方体を選択しています。

\* 「1000mm角」の立方体を選択した場合は、3Dパースで立方体に対し「最適化解除」を実行する必要があります。「最適化」されたままでは、テクスチャ模様が正しく表示されません。

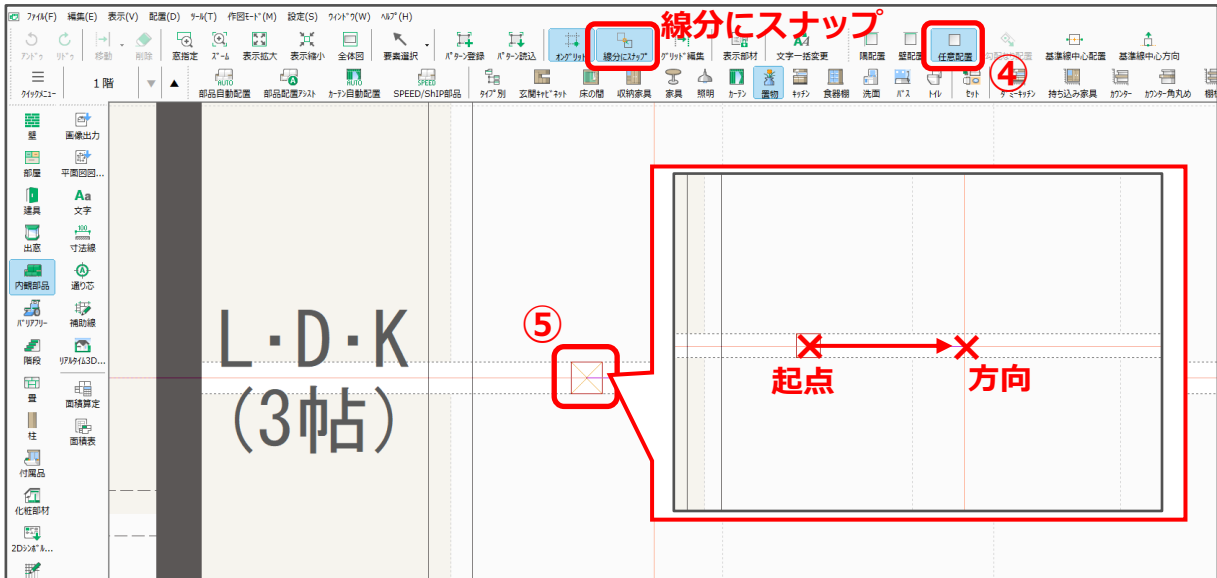
③ 「OK」をクリック

\* 部品の中心にマウスがスナップした状態で、ラバーバンド表示されます。

④ (任意配置)をクリック

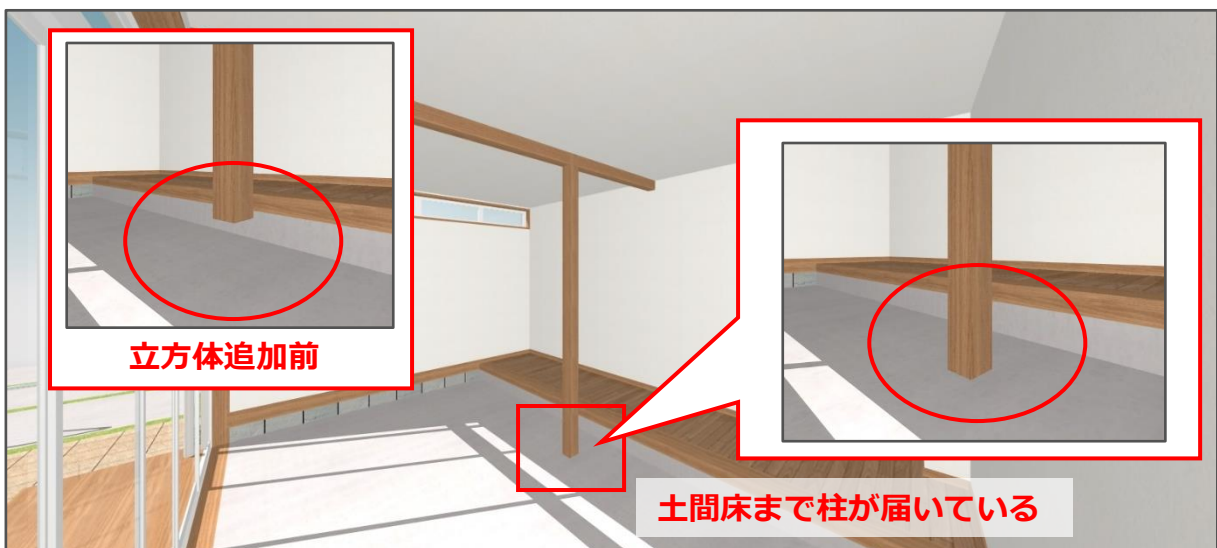
⑤ 長さを追加したい柱の中心を起点としてクリックし、マウスを水平に移動させてクリック

\* 柱と同じ位置に、部品の立方体が配置されます。



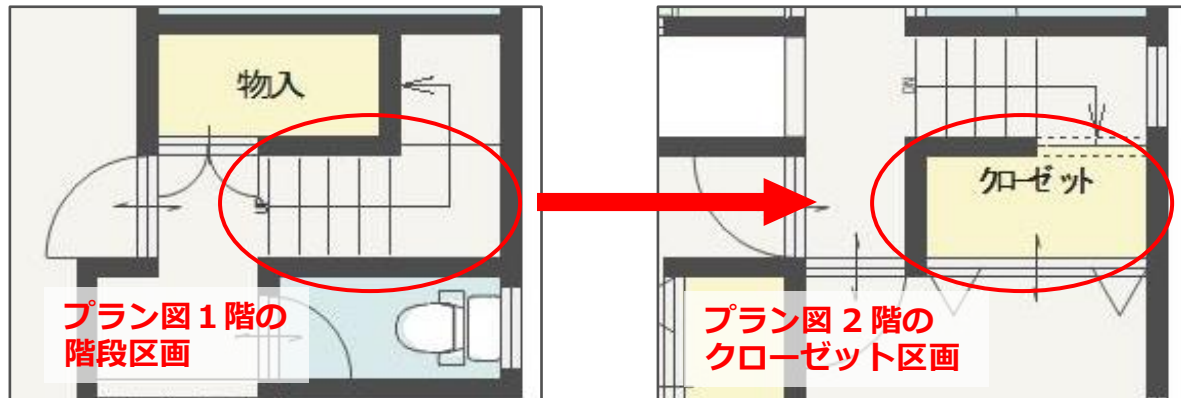
\* ここでは、グリッド上に柱の中心があるため、グリッドが表示されている状態で、 (オングリッド)が有効になっていれば、任意配置で柱の中心を起点に部品を配置できます。グリッドに乗っていない柱の場合、 (任意配置)を選択後、 (線分にスナップ)をクリックすると、柱の中心にスナップできます。

⑥ (3D パース)で、柱が土間床まで届いていることを確認



- 面拡張を利用した隙間の穴埋め

ここでは、以下のような階段区画の上階に、床高を上げたクローゼットがある間取りで説明します。



階段の天井高を確保するため、以下のように高さを設定します。

1階 階段(最下階)

床高：57mm      天井高：3410mm

2階 クローゼット

床高：477mm      天井高：2000mm

背面の下がり壁      壁高さ：2020mm



(3D パース)で階段部分を確認すると、壁に隙間ができています。

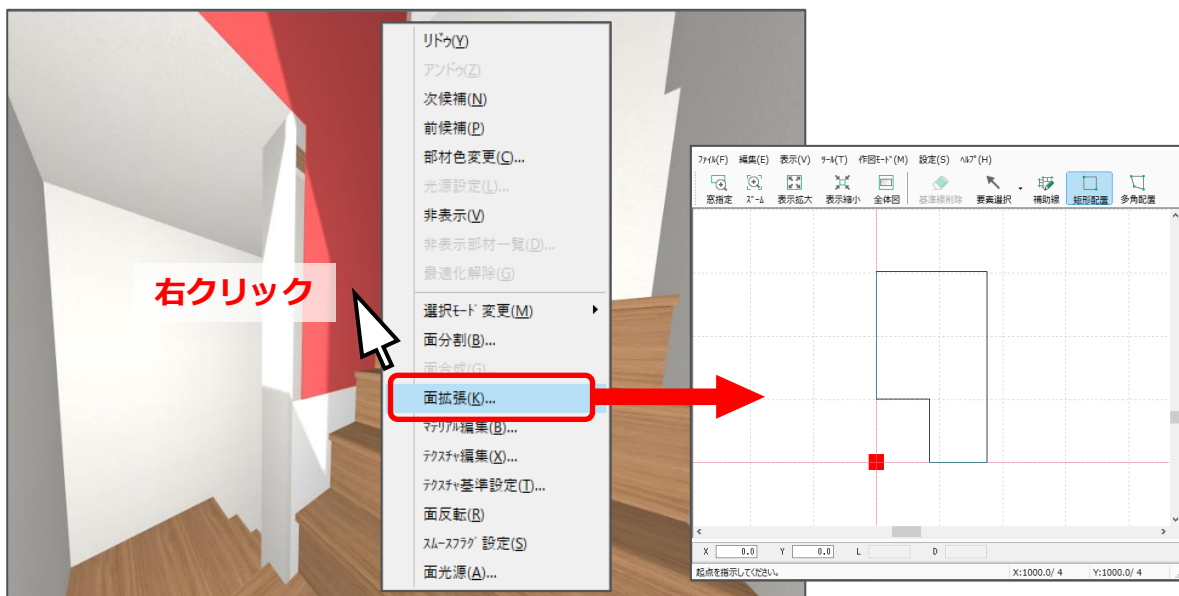
1階「階段(最下階)」の上階が「階段(最上階)」ではないことで、階段の1～5段目までの天井面が自動で抜けないことと、階段(最下階)の天井高を高くすることで、内壁が設定した天井高まで伸びてこない部分ができます。



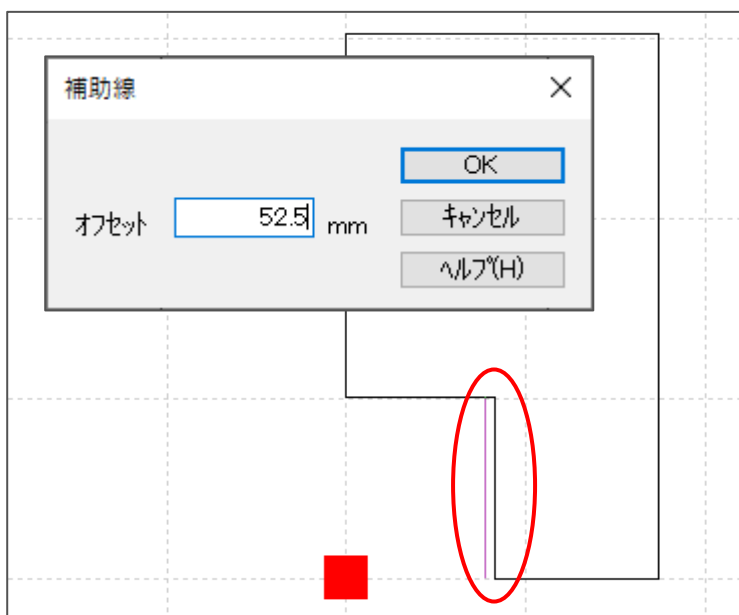
そこで、3D パースの「面拡張」を利用して、階段にできた隙間を埋める方法を説明します。  
 面拡張の詳しい入力手順については、FAQ または A's (エース) のマニュアルをご覧ください。


[\[1251\] 面拡張の利用方法](#)

- ① (3D パース)を開き、選択モードを「面」に設定
- ② 階段区画の内壁をクリックし、右クリックメニューの「面拡張」をクリック
  - \* 面拡張の画面が表示されます。



- ③ 追加したい範囲を指示するため、 (補助線)をオフセット配置
  - \* ここでは、「52.5」mm のオフセット値で補助線を配置します。



④  (矩形配置)で追加したい面を起点-終点で入力

\* 入力後、「更新しますか?」とメッセージが表示されるので「OK」をクリック



\* 追加した範囲まで面が拡張し、隙間が埋まります。





**【補足】**

「1 階物入」の天井高 (2400mm) と「階段 (最下階)」の天井高 (3410mm) に段差があるため、その段差分、天井伏図で不要な面が生成され、3D パースにも表示されます。

天井伏図で不要な天井面を削除します。

